

第27回コミュニティ祭り

10月19日(日)
入場者数700人

中学生と一緒に朝のミーティング



語り部

コミュニティスクール



マジック

コミュニティ祭りの御礼

「コミュニティ振興協議会長 江尻 東磨

第二十七回コミュニティ祭りには大勢の地区の皆さまにご来場いただきありがとうございました。また、中学生のボランティアや関係団体の皆さまには、早朝よりご協力いただき心よりお礼申し上げます。

この祭りは単なる素人演芸大会や作品発表会ではなく、「地域総合学習」の発表の場であり、親睦の集いであると私は信じています。しかし、ごく一部の方々からは「マンネリ化」との声が寄せられています。一考の必要があると思いますので、ご意見をいただけたら幸いです。

祭りを鑑賞された皆さまは、世の名人、達人をしのぐほどの発表や作品等に触れられ、心の安らぎや感動を覚えられたことでしょう。将来、ふるさとを離れても一番懐かしく思い出されるのは「コミュニティ祭り」と言われるよう努力してまいります。

人材バンク

「北条地区助け合いセンター」

指導分野会員活躍！

今年度の人材バンクの特徴は指導会員の派遣数が多くなってきたことです。

指導会員が先生になつて七月に開校したコミュニティスクールは、生徒の数は決して多くはないですが、確実に学習の成果を上げ、コミュニティ祭りでは堂々と発表するまでになりました。十一月三十日には「コミュニティフェスティバル」を開催し、それぞれの教室で習ったことを発表します。

また、中学校には「文化祭地域公開講座」や「かきやきプラン創造事業」の指導者として派遣させていただきました。学校側からは近年にない大勢の地区民から来ていただき、地域の人だからできる学びと、触れ合いを深めることができたと、喜んでいただくことができました。

「地域の人々が先生に」、正に人材バンクの理想像でもあります。

初の園庭使用の運動会

北条保育園
園長 赤澤 睦子

青空の下、元気いっぱい始まった運動会。途中雨に降られ、遊戯室に移動する場面もありましたが、後半は再び願いがかなない園庭で競技をすることができました。

大きな声援を受け、それぞれの年齢なりに精一杯のがんばりを見せてくれた子供たち。みんなの心が一つになって、まあるい笑顔が広がって、楽しい運動会になりました。

皆さまからご協力いただき心より感謝申し上げます。

